

# 自治会連合会会報

第 12 号

## 自治会・町会・地区・区は地域の輪

自治会・町会・地区・区では、地震・風水害などの災害に備えての自主防災活動や、青少年の健全育成、交通安全、環境美化活動、住民同士の交流を深めるための活動などを行っています。  
自治会・町会・地区・区に加入して交流を深め、地域の輪を作りましょう。



地域をつなぐコミュニティバス「春バス」

### ● 主な内容 ●

自治会・町会・地区・区の特徴及び活動状況の紹介、役員視察研修会報告  
幸松地区の紹介、市議会議員定数削減に係る陳情および自治会長へのアンケート調査報告

### 平成19年度活動報告

定例総会.....	平成19年 5月17日
自治会活動の手引き発行.....	5月17日
春のクリーンデー.....	5月27日
正副会長会議.....	4月19日他 7回
理事会.....	4月19日他 6回
役員研修会.....	11月15・16日
各地区体育祭の実施	
粕壁地区体育祭.....	10月 7日
内牧地区体育祭.....	10月 7日
武里地区体育祭.....	10月 7日
武里団地地区体育祭.....	10月 7日

豊春地区体育祭.....	10月 7日
幸松地区体育祭.....	10月 7日
豊野地区体育祭.....	10月 7日
庄和地区体育祭.....	10月 7日
市議会議員定数削減に係る陳情および自治会長へのアンケート調査実施 研修会.....	20年 2月23日

### 講演

【演 題】 「山下さんちの物語  
～地域でいきいき編～」

【講 師】 講談師 宝井琴桜氏

【協力事業】 日赤社資・社協会員の増強への協力  
赤い羽根、歳末たすけあい等募金運動への協力

ごみの5分別収集への協力  
自主防災・防犯活動への協力

【その他】 各種審議会等への委員選出

各種行政機関との連絡調整 等

# 我が街の活動紹介

● 順不同 ●



健康相談会

新生二区は、南桜井駅より千葉県寄りに六、七分ほどのところに位置しております。昔、軍需工場の社宅として造成された地域の二部で、現在新生地区（新生一区・二区・三区・四区）で区長会を結成（二百世帯）し、集会所の管理および共同事業（自主防災会・資源回収・公園の清掃・グラウンドゴルフ大会）を実施しております。



新生二区

区長 稲葉 稔

新生二区は世帯数六十五戸、区の役員は区長を含め八名で運営しております。現在、実施している事業は毎年一月中旬に新年お楽しみ会を開催し、町内会のコミュニケーションを図っています。毎年十月、以前は日帰り研修旅行を実施していましたが、補助金の廃止と高齢化による参加者の減少のため中止とし、代わりに五年ほど前から健康相談会を開催しています。「健康は一番の財産」をモットーに保健センターの職員による栄養指導・健康相談・測定などと、区長の講話と昼食懇親会を開催して健康意識の高揚を図っております。

また、十五年ほど前から歴代の区長より引き継がれていきます「新生二区町内会だより」という広報を毎月区長が作成し、市の広報と一緒に全戸に配布しています。これは町内会の行事を主に、区長会・自主防災会・市の事業などをお知らせして、会員から大変重宝がられています。今後とも皆様のご協力をお願いいたします。



小淵島自治会

会長 沼和保

私たちの自治会は、幸松二十三自治会に所属し、運営上

小淵六地区（松河町・追分・本村・観音前・原前・島）に分けられております。春日部市の北部に位置し、杉戸町と接する緑豊かな住宅地です。近くには国道四号線や国道十六号線が交差して走り、西側には大落古利根川が流れています。不二山（浄春院）近くには昔、何度も川がはらんして土砂が積もり自然にできた微高地（砂丘）が現在も一部残っております。平成十六年には首都圏を浸水被害から守るため、小淵橋近くに首都圏外郭放水路工事が着工されました。平成十八年に完成し、大雨で一定の増水時には流入口から取り入れられ江戸川に放出されています。近くには自動車教習所・小淵小学校・商店などもあり、街並みを形成しています。

自治会組織は顧問・参与・会長・副会長・理事・組長・班長・監事・会計・クリーン推進委員・子ども会・体育振興員・民生委員・防犯ボランティア・女性部員など役員三十八名からなり、五百六十世帯の運営にあたっております。年度事業も四月の総会から、春・秋のクリーンデー、市民夏祭り、合同盆踊り、幸松地区体育祭、合同防災訓練、子



防災訓練

ども会協賛もつき大会、島賀詞交歓会、古利根川清掃などを実施しています。

会員の皆様もそれぞれ多忙の中、自治会活動に積極的に参加され地域と共生を図り、「心と心の融和を大切にしよう」と協力し合うことができると、誇れる自治会です。これからも親睦と相互理解を深め、安心・安全な生活環境づくりに努めて参りますので、皆様のご協力をお願い申し上げます。



旭町町内会

会長 田 實

私たちの住む旭町町内会は、粕壁地区の北部に位置し、市祖春日部重行公を祭る最勝院



粕壁三丁目A街区再開発事業

前の旧寺町通り、日光街道の旧横町通り、岩槻新道商店街を中心部として現在約百二十世帯で構成されておりです。

町内会は、会長・副会長・組長・会計・会計監査で役員会を構成し、さまざまな行事や課題に対応しています。

昨年の春からは、春日部の未来を先駆ける複合再開発として、町内会の中心部に『粕壁三丁目A街区第一種市街地再開発事業』が始まり、二街区のスポーツ施設は本年六月に竣工予定、公共施設（保育所・子育て支援センター・児童センター）は平成二十一年度開設予定、一街区の二十六階建てタワーマンションは平成二十一年一月竣工を目指し、順調に工事が進められている状況です。

この再開発にあたり、町内

会の多くの世帯にさまざまな動きがあり、他方面へ転居された人、代替地に移られた人、後日、タワーマンションに入居予定の人など、それらの掌握と種々の連絡に各役員があたっております。

年間行事としては、新年会・春のクリンデー・夏祭り・防犯パトロール・防災訓練・地区体育祭への参加などがあります。

昨年の夏祭りは、町内の中心部で再開発工事が始まり、安全性の観点から参加を見合わせましたが、本年六月にはスポーツ施設が竣工予定とのことであり、夏祭り参加のための検討を進めております。

これからも、安全で安心できる街づくりを目指し、努めて参りますので、皆様のご指導とご協力をお願い申し上げます。



栄町三丁目町会 会長 今井 和

我が街、栄町三丁目町会を紹介いたします。東武線北春日部駅の西方に位置した新興住宅街です。当初町会は、栄町自

治会組織として昭和五十二年に発足し、幾多の先人らによって築かれ、今では六百八世帯（人口千五百八十八人）、極めて立派な街に成長し、大規模地域に発展いたしております。

当町会の組織は、会長・副会長・書記・会計・各専門部・部員・各組長・班長の総勢八十一名で町会活動を運営しております。活動の一環として、

昨年は特に防犯に強い街づくりを合い言葉に、毎月第三土曜日を防犯強化の日に指定し、栄三防犯パトロール隊を結成して活動に努めています。また、町会のシンボルカラーはオレンジ色で、行政の児童虐待防止のカラーのオレンジ色に準じ、年間を通して「子ども虐待をなくそう」をポスターなどで周知し、児



ふれあいフェスタ

童虐待防止運動に取り組んでいます。

町会行事は、メインのふれあいフェスタ（九月）・日帰りバスツアー（十一月）・親子のふれあいもちつき大会（二月）・春秋の町内クリンデー・地区の夏祭り・体育祭とI・地区の夏祭り・和を広めて回を重ね、親睦の和を広めています。本年は、町会創立三十周年にあたり、記念に残る行事をと役員をはじめ、会員の皆様からのアイデアをもとに取り組んでいます。

これからも、行政との連携を密に、人々の交流と親睦を深め時代のニーズに合った街づくりに努め、安全で安心な住みやすい街を目指し活動を推進していきたいと願っております。今後とも皆様のご支援・ご協力を切にお願い申し上げます。



谷原一丁目町会 会長 稲 葉 涼 哉

谷原一丁目町会は春日部駅西口より南一・三キロメートルに位置する利便性の良い閑静な街で、結婚式場フラールガーデンが目印です。当町会



地域活動の充実（音楽会）

は四百世帯で構成され、三つを柱にして活動しています。

地域活動の充実

古くからの居住者と新しく転入された方と一緒に活動ができるよう心掛けて行事を企画しています。今年六月にバス二台で「河口湖散策」に出掛け、十一月に地元の声楽家を招いて谷原保育園ホールで音楽会を行い、十二月は地元産のもち米百二十キログラムで子どもたちともちつきをして盛り上がりました。また、町会便りを年六回発行することができました。

災害備蓄品の充実

災害対策として、防災備蓄五年計画を発足させ、今年で四年になります。今後、「食料・水・排せつ」を主にした備蓄品を充実していく予定です。

環境整備と防犯対策

心地よく住みやすい環境を維持するために、声掛けとあいさつを心掛けております。また、「ミ出しの点検や防犯パトロールも実施しております。私は三十年前、東京から転居した団塊の世代です。生活の拠点を職場から地域に切り替え、「地域デビュー」に至りました。今後も近隣の町会・自治会とも協力して町会活動を盛り上げていきたいと思っています。皆様のご指導をお願いいたします。

赤沼自治会



会長 赤沼 行雄

当自治会は、北東に庄内古川、南西には古利根川に囲まれ、四号バイパスが横断した市の東方に位置し、全体が調整区域で良い自然環境に恵まれ、歴史と文化に育まれた緑豊かなところです。

世帯数四百三十戸ほどで、四ブロック(組)と四十三班で編成され、自治会長・副会長・会計・組長会で運営されています。赤沼には二百九十年余りの歴史があり、市の無形文化財に指定されている三匹の獅子

舞があります。毎年二回、七月「豊作祈願」・十月「収穫祭」の第三日曜日に赤沼神社に奉納されています。最近、子ども連獅子舞が特に喜ばれ、子どもたちで作った獅子頭で、あどけない仕草で舞うさまに観客は歓声のエールで盛り上げております。祭典には、地ビール(赤沼ロマン)、赤米もち、獅子小麦まんじゅうなど多彩な品物が並び、老若男女の楽しい交流の場となっています。また、行事として納涼祭、地区体育祭、ふれあい食事会、防災訓練、軽スポーツ大会など、そのほか組織活動では資源回収、通学路下校時の見守り、環境浄化清掃など全住民がボランティアや活動に参加しております。本年は新たに農地・水環境保全向上対策事業に着手しました。農水



子ども連獅子舞

管理組合を立ち上げ、良い環境を目指した基礎づくりで、若人たちを含めた次世代に共有する財産と生態系景観の整備などを目標にした、夢と希望にあふれた街づくりを五年計画事業とし、歩みはじめました。自分たちの地域は自分たちで守り、行動し、住んで良かったと感じる安全・安心の心情を目指し努力して参りますので、皆様方のご支援とご指導のほどお願いいたします。

正善第一自治会



会長 正善 第一 自治会 永 山 雅 通

正善第一自治会は春日部市備後東七丁目地内にあり、約二百五十世帯の新興住宅地です。

自治会の年間イベントから紹介しますと、五月中旬に自治会主催のバーベキュー大会とビンゴゲーム大会、七月中旬に備後下地区五自治会主催のカラオケ大会・子ども会を主にしたゲーム大会・全住民参加の抽選会を行います。十月は武里地区三十九自治会による体育祭に参加し、最近三年間で優勝二回、準優勝一回



正善第一自治会の年間のイベントを支える人たち

の実績があります。十一月下旬には、備後下地区五自治会・東急武里自治会・大場東口自治会の七自治会で防災訓練を行っています。十二月初旬には、自治会主催のもちつき大会、十二月および一月の土曜の夜には、火の用心の夜回りも行っております。

私が会長になってから六年になりますが、地域主催のイベントを通じて、住民の交流を図り、それが地域の安全と安心の環境づくりに役に立てばと願っております。

水角区



区長 水角 勝

私たちの水角区は庄和地区

の南部に位置し、世帯数は百四十九戸で八組に分かれています。地区の四分の三は農業振興地域で、約百ヘクタールの水田があり、緑豊かな稲作地帯です。こうした田園の中に四号バイパスや広域農道が通っており、近年は四号バイパス沿いに物流倉庫や各種商業施設が進出してきています。区の運営は区役員三名、組長八名で毎月の定例役員会で相談しています。また、組長には組内の要望などを持ち寄っていただき、地域の意向を取り入れ、住民参加の地域づくりに心掛けております。主な活動は、全戸による排水路の除草作業を年二回、泥上げ清掃作業を年一回実施しています。夏休みの時期には、区内の団体のご協力を得て、納涼夏祭り大会を実施しています。焼きそば・かき氷などの模擬店やカラオケ大会・お楽しみ抽選会などを行い、多くの方に楽しんでいただいております。また、三世代交流として、老人会主催による親子金魚すくい大会も同時に開催しています。十一月は子どもから高齢者まで参加できる輪投げ大会を実施し、健康と親睦を図っています。地域活動としては、ボラン



市道のコスモス

ティアが集い、通学路の防犯パトロールを実施しています。パトロールを始めてからは、不審者が発生しなくなりまし  
た。また、市道の法面などを利用してサルビアやコスモスを植え、景観の形成を行っています。



牛島3番地区

地区長 山崎茂男

私たちの地区を紹介させていただきます。牛島球場を真ん中に、西は女体神社付近、

東は庄内古川まで、北は春日部・西金野井線沿いの細長い地形で二百二十七世帯を有する閑静な農地と宅地の混在する所であります。

自治会役員は自治会長・副自治会長・会計長・組長三名・ブロック長二十一名で構成されています。随時、役員会を開き、円滑な事業の運営に努めています。

年二回の女体神社の祭典には、疫病除け・子孫繁栄・家内安全を氏子の皆様でお祈りしています。また、毎年、元旦祭を催しておりますが、今年も約千六百名ほどの参拝者が初参りを済ませました。その運営に際しましては、今までは氏子の方々にお手伝いをお願いしていましたが、六年ほど前から氏子でない一般の方のお手伝いが毎年少しずつ



見守り隊

増えてきており、大変うれしいことでもあります。これからも、牛島全体の守り神として受け継がれることを望みます。

当地区で自慢の出来事があります。それは当地区の皆様が大変、協力的であるということ。春・秋のクリーンデー、防災訓練の時には全世帯の半分以上の百二十三名ほどの方々のご協力がありました。今年から児童の見守り隊

を結成しましたところ、七十二名の方に協力いただき、三名ぐらいの人員で三班に分かれて、毎日、下校時の見守りを行っているところです。

今後も、皆様とコミュニケーションを図り、親睦と相互理解を深め、地元の間人であるという意識を持つていただき、地元の発展のためにお力をお貸しいただくようお願い申し上げます。住民が安心して暮らすことができるよう努力していきたいと思えます。



谷原二丁目町会

会長 高橋宣雄

谷原二丁目町会は、平成十二年、上谷原自治会から分離



そらまめ体操

して発足しました。当町会は、ふじ通り・ユリノキ通りに囲まれた閑静な住宅地にあります。世帯数は二百十一、近くに八木崎小学校、上谷原区画整理記念館を擁し、左右に大きなマンションがある所です。役員は九名の組長と町会から選出された六名の理事で構成されており、会長・副会長・会計・事務・その他で分担して行事を行っております。

去年、やわら二丁目サロン会を立ち上げ、勉強会・ハイキング・カラオケ・歌声など趣向を変えて、住民との親睦を図り、コミュニケーションを深めております。諸行事としまして、町内地域住民とのふれあいの場を大切にこの思いから、年一回バス旅行を企画して実施している次第です。特に防災には力を入れており、

向こう三軒両隣の教えを後世に伝えようと、地域住民の意識向上を目標にしています。防災釜を利用した炊き出しには、多数の住民の方に参加していただき、もち米四升を使用して赤飯が上手にできあがりました。皆、一生懸命に手伝ってくれ、一喜一憂しながら語り合い、楽しく過ごせて大変良かったと思えました。また、最近では犯罪の件数が年々多くなり、安全・安心が失われかねない今日なので、毎月、重点的に町内の防犯活動を活発に行っております。街灯切れ、不審な行動を行う者のチェックに重点を置き、明るく安心した町内づくりに防犯パトロール隊を組織して実行している次第です。



銚子口自治会

会長 田貢平

当自治会は、市の東方にあり、国道四号、ハイパスの北側、西は古利根川、東は庄内古川に挟まれた地区にあります。銚子口の地名は古く、明治二十二年に豊野村に合併する前は銚子口村として独立した行



銚子口の獅子舞

政単位でした。そして、そのまま銚子口自治会として存続しています。地区内には、豊野小・中学校、豊野地区公民館、駐在所などが存在し、旧豊野村の中心地でした。

当自治会の組織は、世帯数二百八十世帯、四組、三十四班に編成され、自治会長・副会長・組長・班長・婦人部・青年部で運営されております。

銚子口には、三百年余りの歴史を持つ市の無形民俗文化財に指定されている「銚子口の獅子舞」があります。元禄十年（千六百九十七年）に現在の越谷市下間久里から伝わった一人立三頭獅子という形式の獅子舞で、日本無双角兵衛獅子と言われ、雄大・勇壮・そして男性的な特徴を有する全国でも数少ない舞です。毎年一月・七月・十月の各月

私たちの街、備後宮田自治会を皆様にご紹介いたします。所在地は一ノ割駅より武里方面に五百メートルほど戻り、線路際の宮田ちびっ子広場よりスタートして、国道四号線に向かって約一キロメートルくらいまで東西に広がり、六百五十世帯の住宅街です。



会長 橋本和久

備後宮田自治会

に例大祭を行い、銚子口香取神社に奉納されています。銚子口香取神社の初詣には、自治会役員も協力して、毎年、初詣客に甘酒などを提供してお迎えしています。春にはグリーンデーの清掃、神社の草取り、防災訓練、夏には地区納涼祭を開催、婦人部を中心に親子三代にわたつての踊り手が多いのが自慢です。また、地区の美化も含めて、資源回収を毎月第三日曜日に行っています。学童安全パトロールの見守り隊も活動しています。安全・安心の住みやすい地区を目指しておりますので、各位のご指導・ご協力をお願い申し上げます。

また、春の「日帰りバス旅行」、夏に行う恒例の「納涼夏まつり大会」は、三十年の歴史があり、檜をはじめ四百個の提灯付けも全て皆様の手作りで行っております。日程も旧盆に開催され、はじめのうちには皆様の批判もありましたが、今ではここが故郷になり、お孫さんの参加が年ごとに多くなっております、うれしい限り

自治会は四十年の歴史がありますが、新興住宅の街です。会員の連帯感が強く感じられ、とても住み良い自治会です。大きな自治会ではありませんが、会員のコミュニケーションを最優先として自治会活動を行っております。春と秋に行われる自治会内の「清掃活動」には、約四百名の会員皆様のご協力のもと、一時間という速さで街中をきれいにしてください。



防災訓練

現在、永沼区は二百六十九世帯で構成されており、組は六組に分かれ、役員構成は区長・副区長・会計・組長・評議員・監事の計二十四名、定例役員会は二か月ごとに監事を除く二十二名で開催し、

私たちの住む永沼区は、合併により市の東部に位置し、庄和中部地区の二画にあり、区全体が市街化調整区域で、東西に東武野田線、南北に四号バイパス、また、都市計画道路が区の中心部を東西に通ることが決定されました。従来、永沼区は稲作を中心とした兼業農家が多く、緑に囲まれた地域ですが、最近是小規模開発ならびに新興住宅が増えて、少しずつ環境に変化の兆しを感じられます。



区長 島村文雄

です。秋には、武里地区体育祭「防災訓練」、初冬には「芋煮会」「大抽選会」が開催され、会員皆様が楽しんでいきます。お時間がありましたら、ぜひ遊びに来てください。お待ちしております。



三世代交流納涼大会

市からの要請・区運営に関する議題を中心に協議を行っております。その他必要に応じ、組長会議を行い、対処しております。

区の主たる事業としては、まず、環境維持のため、六月に一斉美化運動ならびに一斉雑草刈り、翌年三月には堀掃除を全世帯対象にご協力をいただき実施しております。八月にはコミュニケーション活動の一環として三世代交流納涼大会を実施しております。十月には庄和地区体育祭に全種目参加し、地区の皆様にも呼びかけ、多くの皆様が応援に駆けつけていただいております。昨年はPTAのお母様のご協力により強力なリレーチームが編成でき、男子三位・女子優勝と輝かしい成績を残すことができました。

今後とも住民相互の理解と親睦を深め、文化的で安心した地区づくりを目的として頑張っていきたいと思っております。関係各位のご指導・ご協力をよろしくお願いいたします。

備後須賀第四自治会



会長 野村 幸男

我が街、備後須賀第四自治会は武里市民センターから武里小学校方面に進む両側にある二百三十四世帯の小さな自治会であります。

以前からこの地域にお住まいの方は五パーセントくらいは少数で、大多数の方が埼玉都民で構成されております。しかし、今では埼玉を愛し、春日部が大好きな方々の集まりとなり、郷土愛に燃える自治会となりました。

安心・安全の街づくりのため、会員のご協力で夜間パトロールを実施しております。そして、武里小学校児童の学校に合わせて、愛犬家の皆様も散歩をしながら子どもたちの安全を静かに見守っていただいております。毎年九月の

第二日曜日には、須賀の五つの自治会が合同で大運動会を開催しております。会員の皆様の懸命の努力の甲斐なく、四位・五位に低迷しており、誠に残念であります。しかし、我が備後須賀第四自治会は運動会会場の武里小学校校庭の片隅に大きな釜と鍋を持ち込み、災害時の非常訓練を兼ねて炊き出しをしております。献立は毎年異なり、炊き込みおこわ・カレーライスなど会員の皆様が一生懸命に和気あいあいのうちに楽しくおいしい食事を提供してくれまます。負け惜しみではありませんが、運動会の順位より自治会の皆様のご協力の姿の方がもっともつと価値のあるすごい勲章であると自分自身に言い聞かせております。



自主防災訓練

倉常区



区長 新井 孝次

私たちの倉常区は元桜井村で一度杉戸町に合併し、分町して庄和町に合併、現在、春日部市最北端の区と申し上げてもよいかと思えます。

江戸川から取水する中用水路と庄内古川に挟まれ、南北に広がる緑豊かな農村地帯で、区内を四号バイパスが通過してあります。庄内古川と並行に主要道路があり、上手左の奥まった所に下総国葛飾郡の古社であった愛宕大権現が鎮座しています。これは、防火の神として靈験あらたかで、威信は近郷に及んでいます。創建は、延元三年(千三百三十八年)と慶安元年(千六百四十八年)の二説あります。明治七年に村社となり、明治四十二年に村内の香取・山王・八海・愛宕の各神社を合併し、現在は倉常神社と称しています。当社には大絵馬があり、市の有形文化財となっています。

当区は神社を中心とした行事も多く、元旦初詣、二月には備後社式典、四月には辻固め式典・区の総会、五月は市の一斉クリ

ンデー・区防災訓練、七月は夏祭り(みこし・神楽はやしなど)、納涼大会(焼きそばコーナー・かき氷・綿菓子・焼おにぎりコーナーなど)、市長・県議会議員・市議会議員を迎え、区内一同にぎやかなひとときを過ごしています。八月は区内親子釣り大会、十月には地区民祭参加十一月には区独自のクリーンデーなどを行っています。

区の構成は一区・二区・三区に分かれ、一地区が三班に分かれ計九班九人の班長と三地区より地区長・評議員・区長代理・会計が選出されており、評議員が監事にあたりまます。また、区では平成十七年の広島県・栃木県の低学年児童の誘拐殺人事件の後、防犯パトロールを立ち上げ、三人くらいで順番にパトロールの実施を二年余り続けております。安全で安心して暮らせる倉常を目指して頑張っております。よろしくお申し込み申し上げます。



体育祭

役員視察研修報告

去る平成19年11月15日、自治会による災害時の要援護者支援について、先進地である宮城県石巻市を視察いたしました。石巻市では、過去の台風被害による避難を教訓とし、「災害避難時における要援護者支援マニュアル」を作成しており、市が自治会・民生児童委員・自主防災組織など各地域の組織・団体と連携し、地域が要援護者を把握し支援する「地域支援体制」の構築に取り組んでおられました。

避難支援プランでは、個人情報保護の下、要援護者の特定と情報の把握、情報伝達体制の整備、避難支援者の決定、要援護者支援に係る訓練等の実践の困難さや課題等をご教授いただきました。

地域の要援護者の安全は地域で率先して守る必要があることを痛感し、今後の自治会活動において、地域支援体制の構築にも取り組んでまいりたいと考えております。



# 幸松地区の紹介

幸松地区は、市の中央北部に位置する、田園豊かな地域です。地区内を国道4号線と16号線が通る道路交通の要衝でもあり、小淵の立体交差点が完成したほか、新町橋の架けかえ工事も終わり、宅地の整備とともに人口増が見込まれる地域であります。

歴史的には、江戸時代日光街道の粕壁宿から北への通過点、関宿方面への分岐点として知られ、地区内には「道しるべ」と呼ばれた道路標識が多く建てられ、今もその幾つかを見ることができます。また、「浄春院」や「観音院」などの仏閣、「不動院野の神楽」といった無形文化財なども多数現存しています。自然遺産としては、国の特別天然記念物に指定されている樹齢千年以上を誇る「牛島のフジ」が、東武野田線藤の牛島駅の近く、県道春日部松伏線沿いにあり、花の満開の時期には例年多くの人が見物に訪れて、季節の風物詩となっています。

今年2月からは、循環バスの市役所～大風会館往復コースが地区内を通り、粕壁地区と庄和地区を結ぶ地区として、地域間交流が盛んになることを期待しているところ です。

幸松地区では、23の地区・町会・自治会により幸松地区自治会連合会を組織しています。不審者などによる子どもたちの被害を未然に防ぐため、地域が一丸となって防犯活動に取り組むなど、安全で安心して暮らせる住みよいまちづくりを目指して、今後も自治会活動の充実に努めてまいりますので、皆様のご協力をよろしくお願い申し上げます。

幸松地区自治会連合会 会長 石島 忠夫

## 《幸松地区自治会連合会》(23自治会等)

八丁目新町地区	松永正一
八丁目前組地区	白石和一郎
八丁目新仲町会	益子貞男
八丁目下組地区会	栗原英之
八丁目新田自治会	栗原貴一
八丁目五丁目地区	岩浪勇治
小淵松河町地区	高橋弘道
小淵追分自治会	柴田秀
小淵本村地区	小関彦長
小淵観音前自治会	江良生治
小淵原前地区	服部健一
小淵島自治会	菱沼和保
東不動院野地区	石島忠夫
西不動院野地区	山口春信
樋筆第一地区自治会	田中統弘
樋筆柳原地区	小林政敏
向島地区	坂巻光良
樋堀地区自治会	川口清
新川地区	根岸保次郎
牛島一番組	三角孝志
牛島2番組自治会	関根政男
牛島3番地区	山崎茂男
牛島4番地区自治会	本田秀穂

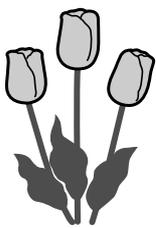
(平成20年2月1日現在)

## 市議会議員定数削減に係る陳情および自治会長へのアンケート調査報告

当連合会では、機会あるごとに市民皆様の声を、連合会独自の活動として代弁してまいりたいと考え、市議会に對しまして、民意を反映した議員定数とすべく、削減の検討をお願いしてまいりました。

今年度は、昨年12月定例会に陳情書を提出させていただき、議会運営委員会ならびに本会議を当連合会正副会長が傍聴した結果、「定数削減陳情の趣旨は理解できる」、「住民意向を反映できる議員数が必要であり、極端な削減は良くない」、「議会内においても今後定数削減を検討していかねばならない」等々のご意見を伺いました。

今回の陳情の経緯を当連合会の各自治会に報告し、今後の活動指針を決定するにあたり、当連合会の自治会長・区長・地区長・町会長の個人のお考えを伺うため、アンケート調査を実施いたしました。調査回答では、議員定数を増加すべきが0人、現在のままが7人、削減すべきが152人、無回答が36人という結果でありました。



## 編集後記

今年は、雪の多い厳しい冬でしたが、待ち望んだ陽光輝く春が訪れてまいりました。

さて、昨年七月に新潟県中越沖地震が起きりましたが、大地震や台風・集中豪雨による水害などの災害は、いっどこで発生するか分かりません。「遠くの親戚よりも近くの他人」と言われるように、いざという時には、隣近所の人たちが一番頼りになるものです。自治会は、こうした人々のつながりを大切にするとともに、住みよい地域社会をつくっていくことを目的としています。身近なことでありながら、なかなか目の届かないさまざまな活動を行っておりますので、皆様のご協力をよろしくお願い申し上げます。

### 編集委員氏名

- 会長 時田 美野吉
- 副会長 上野 照信
- 副会長 板倉 肇
- 副会長 久保谷 哲夫
- 副会長 清水 三郎
- 副会長 石島 忠夫
- 副会長 関根 保

発行日 平成二十年四月一日  
発行者 春日部市自治会連合会  
事務局 春日部市役所市民参加推進課内

〇四八七三六一一一